

IC50・IC46 インクカートリッジ 中身残量について



エプソン純正インクカートリッジの新品です。

理由は不明ですがカートリッジの1/3は空洞となっておりインクは元々2/3くらいしか入っていません。

なおかつ、空打ちなどを避けるため、2割りほどが中に残る仕様となっています。

(印刷状況によっては最後まで使いきれの場合もあります)



弊社の互換インクカートリッジの新品です。

各色とも満タンに入れております。

IC50・IC46 互換の型は、2007年までは文字どおり最後の一滴まで使い切ることが出来ましたが、エプソン側の非純正品排除目的と思われるプリンタドライバの改変により、インク使用量がエプソンのインク容量に達すると、残量ゼロになるようになってしまいました。(インク残量が限界もしくはカートリッジが認識しないというメッセージが表示されます)

現在も通常は弊社製品の方が枚数を多く印刷できます

そのため約1/4ほど残るようになってしまいました。再び全部使い切れるよう研究開発中でございます。

エプソンプリンタの残量表示について

エプソンのプリンタの残量表示方法はドットカウンタ方式といって、カートリッジの容量に対して、打ったドット数に応じてインクの消費量を差し引く方式です。

打ったドット数というのは、プリンタプロパティで設定した用紙の種類や印刷実行したデータ数を元に、今これだけインクを消費したであろうという量の事です。

また、差し引き方式なのであらかじめ使用できるインク量は決まっています。

エプソンが使用できるインク量をどれくらいに設定しているのか不明ですが、満タンを100とした場合、純正インクは60程度の容量と思われます。

つまり現時点ではどんなにインクを入れても使用量換算60に達すると残量表示をゼロ表示する仕様になっているのがエプソンプリンタです。

そのため弊社のインクが100入っていても60打てばプリンタ側で残量ゼロと判断してしまい、現在は1/3近くが残るようになってしまっています。

当製品はオリジナルICチップのため厳密にはエプソン側のインク消費量では終了しません。

そのため枚数を多く印刷できます。



インクを使い切ったカートリッジはこのような状態です。そのためカートリッジを振ると音がします(使用状況で誤差はあります)